

第95回 簿記実務検定第2級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

普通預金	受取手形	売掛金	有価証券
仮払消費税	支払手形	買掛金	未払消費税
仮受消費税	売	上	受取利息
仕入	支払利息	有価証券売却損	

- a. 売買目的で保有している大阪商事株式会社の株式 200 株 (1 株の帳簿価額 ¥7,000) を 1 株につき ¥8,500 で売却し、代金は当店の普通預金口座に振り込まれた。
- b. 富山商店は、さきに西南商店から商品代金として受け取っていた同店振り出し、富山商店あての約束手形 ¥2,700,000 について、支払期日延期の申し出があり、これを承諾した。よって、支払期日の延期にともなう利息 ¥9,000 を加えた新しい手形を受け取り、旧手形と交換した。
- c. 北海道商店は商品 ¥693,000 (消費税 ¥63,000 を含む) を仕入れ、代金は掛けとした。ただし、消費税の処理方法は税抜き方式により、仮払消費税勘定を用いている。

2 次の各問いに答えなさい。

- (1) 奈良商店 (個人企業 決算年/回 12月31日) の売掛金に関する下記の資料から、損益計算書に記載する次の金額を計算しなさい。なお、売り上げはすべて掛け取引であり、返品、値引きはなかった。

a. 売上高 b. 貸倒損失

資料

i 売掛金勘定残高

前期末 ¥ 800,000

当期末 ¥ 650,000

決算にさいし、売掛金の期末残高に対し、毎期末に2%の貸倒引当金を設定している。

ii 当期中の売掛金に関する取引

売上高 ¥

回収額 ¥2,000,000

貸し倒れ発生額 ¥ 20,000 (すべて前期の売掛金より発生した。)

- (2) 次の文について、下記の各問いに答えなさい。

企業では、決算において、残高試算表から損益計算書と貸借対照表を作成する手続きを一つにまとめた表を作成することがある。この一覧表を という。

a. 下線部 を英語表記にした場合にあてはまる語を選び、その番号を記入しなさい。

1. Balance Sheet 2. Profit and Loss Statement (Income Statement)

b. にあてはまる語を選び、その番号を記入しなさい。

1. 精算表 2. 棚卸表

(3) 支店会計が独立している兵庫商店の下記の取引について、仕訳を示しなさい。ただし、兵庫商店は本店集中計算制度を採用している。なお、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	売	掛	金	買	掛	金	売	上
仕	入	神	戸	支	西	宮	支	本	店

- a. 神戸支店は、本店の得意先に対する売掛金 ¥340,000 を現金で受け取った。(神戸支店の仕訳)
- b. 本店は、神戸支店から発送された商品 ¥250,000 (原価) を西宮支店が受け取ったとの報告を受けた。(本店の仕訳)

3 石川商店の下記の伝票を集計し、1月16日の仕訳集計表を作成して、総勘定元帳の当座預金勘定に転記しなさい。

- i 次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。
- ii 総勘定元帳の記入は、日付・金額を示せばよい。

取 引

1月16日 かねて、福井事務機店から事務用コピー機を購入し、後日支払うことになっていた代金 ¥283,000 を現金で支払った。

〆日 新潟商店から借用証書によって借り入れていた ¥500,000 を小切手#12を振り出して返済した。

入金伝票		出金伝票	
売掛金	156,400	消耗品費	2,900
当座預金	380,900	当座預金	270,000
売上	248,000	買掛金	189,000
売掛金	257,000	買掛金	390,000
売上	174,000	雑費	500
売掛金	187,600	水道光熱費	3,400
() ()		() ()	

振替伝票 (借方)		振替伝票 (貸方)	
仕入	563,000	買掛金	563,000
広告料	61,900	当座預金	61,900
買掛金	215,000	当座預金	215,000
当座預金	437,000	売掛金	437,000
仕入	256,000	買掛金	256,000
売掛金	940,000	売上	940,000
() ()	() ()	() ()	() ()

4 三重商店の下記の取引について、

- (1) 総勘定元帳に記入しなさい。
- (2) 補助簿である当座預金出納帳、売上帳、売掛金元帳、商品有高帳に記入しなさい。
ただし、i 総勘定元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
ii 商品有高帳は、先入先出法により記帳している。
iii 当座預金出納帳・売上帳・売掛金元帳・商品有高帳は月末に締め切るものとする。

取 引

1/月10日 亀山商店に8日に売り渡した商品の一部について、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

A 品 12個 @ ¥800

12日 津商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A 品 550個 @ ¥620

B 品 600〃 〃〃 520

13日 四日市商店に次の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

A 品 400個 @ ¥800

B 品 750〃 〃〃 640

16日 伊勢商店から次の商品を仕入れ、代金はさきに支払ってある内金 ¥200,000 を差し引き、残額は掛けとした。

A 品 800個 @ ¥630

19日 亀山商店に対する売掛金 ¥924,000 を、同店振り出しの約束手形で受け取った。

23日 津商店に対する買掛金 ¥698,000 を小切手#9を振り出して支払った。

27日 仕入先伊勢商店あてに振り出していた約束手形 ¥524,000 が、本日、支払期日となり当座預金口座から支払われたとの連絡を取引銀行から受けた。

5 滋賀商店(個人企業 決算年/回 /2月3/日)の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 貸借対照表を完成しなさい。
- (2) 損益計算書に記載する売上原価の金額を求めなさい。

元帳勘定残高

現 金	¥ 375,000	当 座 預 金	¥ 2,536,000	受 取 手 形	¥ 900,000
売 掛 金	3,200,000	貸 倒 引 当 金	3,000	有 価 証 券	1,800,000
繰 越 商 品	976,000	備 品	2,150,000	備品減価償却累計額	860,000
土 地	1,600,000	支 払 手 形	547,000	買 掛 金	1,295,000
借 入 金	2,080,000	所 得 税 預 り 金	98,000	営 業 外 支 払 手 形	439,000
資 本 金	7,265,000	売 上	20,493,000	受 取 地 代	77,000
仕 入	16,285,000	給 料	1,896,000	支 払 家 賃	864,000
保 険 料	274,000	租 税 公 課	83,000	雑 費	75,000
支 払 利 息	143,000				

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥863,000
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ/%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 定率法による。ただし、償却率は40%とする。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。
東西商事株式会社 2,500株 時価 /株 ¥710
- e. 保険料前払高 保険料のうち ¥162,000 は、本年9月/日からの/年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- f. 利息未払高 ¥ 13,000
- g. 地代未収高 ¥ 7,000

6 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	当 座 預 金	仮 払 法 人 税 等	未 払 法 人 税 等
資 本 金	資 本 準 備 金	繰 越 利 益 剰 余 金	創 立 費
株 式 交 付 費	法 人 税 等	損 益	

- a. 和歌山物産株式会社は、法人税・住民税及び事業税の確定申告をおこない、決算で計上した法人税等 ¥1,048,000 から中間申告のさいに納付した ¥425,000 を差し引いた額を、本日、現金で納付した。
- b. 南北産業株式会社は、決算の結果、当期純損失 ¥307,000 を計上した。
- c. 京都商事株式会社は、事業拡張のため、あらたに株式800株を/株につき ¥29,000 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、/株の払込金額のうち ¥14,500 は資本金に計上しないことにした。なお、この株式の発行に要した諸費用 ¥360,000 は小切手を振り出して支払った。

第95回 簿記実務検定 2級 商業簿記 [解答用紙]

1	借 方	貸 方
	a	
	b	
	c	

2

(1)

a	≠	b	≠
---	---	---	---

(2)

a	b

(3)

	借 方	貸 方
a		
b		

1 得点		2 得点		3 得点		4 得点		5 得点	
----------------	--	----------------	--	----------------	--	----------------	--	----------------	--

6 得点		総得点	
----------------	--	-----	--

試 験 場 校	受 験 番 号

3

仕 訳 集 計 表
令和〇年/月/〇日

(注意) 当座預金勘定の記録は、合計額で示してある。

借 方	平	勘定科目	平	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		売 掛 金		
		買 掛 金		
		借 入 金		
		未 払 金		
		売 上		
		仕 入		
		広 告 料		
		消 耗 品 費		
		水 道 光 熱 費		
		雑 費		

当 座 預 金		2
8,493,600	4,710,200	

4

(1)

総 勘 定 元 帳

現 金 1		当 座 預 金 2		受 取 手 形 5	
1/ 1	619,200	1/ 1	2,743,500	1/ 1	767,000
売 掛 金 6		前 払 金 8		支 払 手 形 17	
1/ 1	1,721,000	1/ 1	200,000	1/ 1	524,000
8	835,000				
買 掛 金 18		売 上 24		仕 入 30	
1/ 1		1/ 8			
1,185,000		835,000			

(2) (注意) 各帳簿は締め切ること。

当 座 預 金 出 納 帳

令和 〇年	摘 要	預 入	引 出	借 または 貸	残 高
/ /	前月繰越	2,743,500		借	2,743,500

売 上 帳

1

令和 ○年	摘 要			内 訳	金 額
/ 8	亀山商店			掛け	
	A品	700個	@ ¥ 800		560,000
	C品	500 "	" " 550		275,000
					835,000

売 掛 金 元 帳

亀 山 商 店

1

令和 ○年	摘 要	借 方	貸 方	借また は貸	残 高
/ /	前月繰越	924,000		借	924,000
/ 8	売り上げ	835,000		"	1,759,000

商 品 有 高 帳

(先入先出法)

品名 B品

単位：個

令和 ○年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
/ /	前月繰越	300	500	150,000				300	500	150,000

3		4	
得点		得点	

5

(1)

貸借対照表

滋賀商店

令和〇年/2月3/日

(単位：円)

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		買 掛 金	
受 取 手 形 ()		借 入 金	
貸 倒 引 当 金 ()		所 得 税 預 り 金	
売 掛 金 ()		()	
貸 倒 引 当 金 ()		営 業 外 支 払 手 形	
()		資 本 金	7,265,000
商 品		当 期 純 利 益	
()			
()			
備 品 ()			
減 価 償 却 累 計 額 ()			
土 地			

(2)

≠

6

	借 方	貸 方
a		
b		
c		

5		6	
得点		得点	